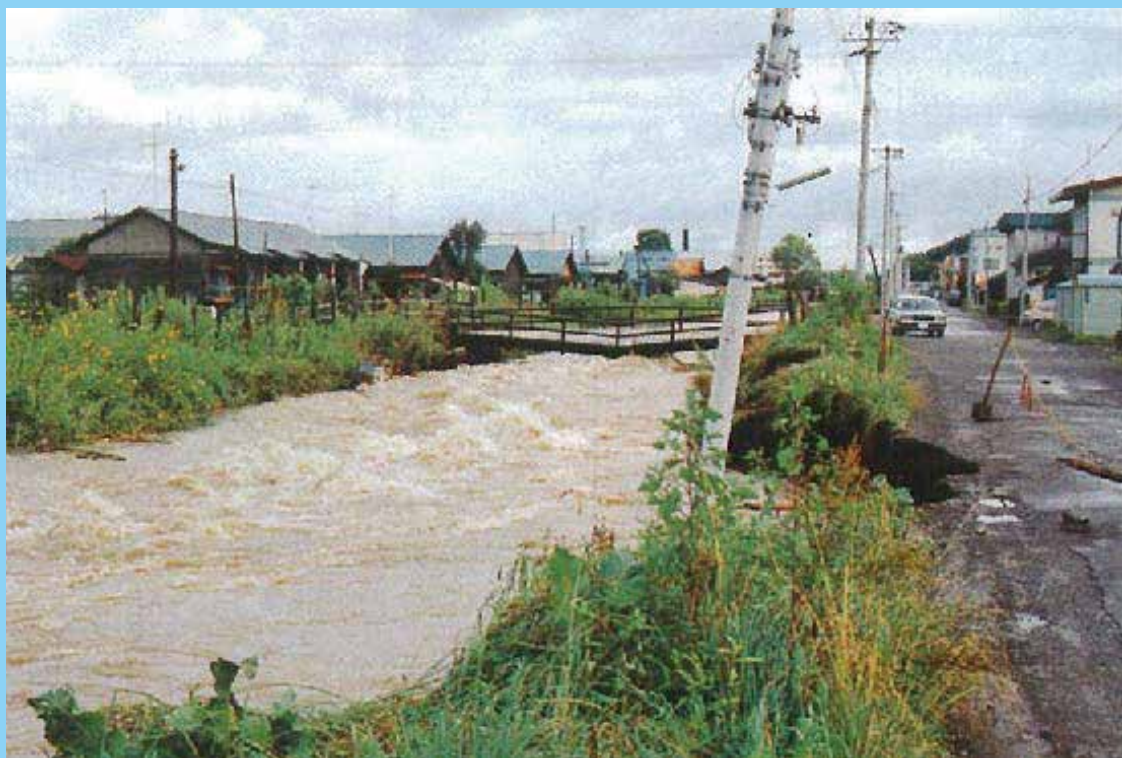




安平町 洪水ハザードマップ

安平川のはん濫に備えて



昭和56年8月台風12号による水害



町長の言葉

私たちの住む安平町は、幸いなことに大規模な災害の少ない地域であり、過去の記録において最も多く発生した災害である大雨災害につきましても、昭和56年の大雨洪水による被害がここ数十年で最も大きなものとなっています。

また、この時の教訓が今日までの河川や各種施設の改修に生かされ、過去に比べて被害が減っているという見方もできますが、地球の温暖化をはじめ気象条件が年々変わってきていることも感じられ、昔に比べ何が起るかわからないという気もいたします。

このような中、“安平町洪水ハザードマップ”を作成いたしましたのは、近年、全国各地で大雨・土砂くずれによる災害が多発しており、お年寄りやお身体の不自由な方々がお亡くなりになるなど、大変痛ましい状況にあるということ、それからこうした大雨洪水などのいわゆる水害は、私たちの手で減災することが可能なものであり、町民皆さんにご覧いただきながら日ごろからの備えを十分に行い、皆さんとともに安心して安全に暮らせる町づくりを目指したいと願ったからでございます。

ぜひ本書をご活用いただき、避難の方法などについて地域の皆様やご家族と話し合っただけであれば幸いです。

安平町長 龍 寿

もくじ

1. 洪水ハザードマップとは	2
2. 洪水ハザードマップの活用方法	2
3. 風水害の心得	4
①大雨について知っておきましょう	4
②台風の特徴を知っておきましょう	6
③近年におきた水害を知っておきましょう	7
④気象庁が発表する注意報・警報を知っておきましょう	8
⑤雨の強さと予想される被害を知っておきましょう	8
⑥風の強さと予想される被害を知っておきましょう	8
⑦風水害の対策をしておきましょう	8
⑧風水害の防災知識を身につけておきましょう	9
4. 土砂災害の心得	10
5. 自主防災組織の結成にご協力ください	11
6. 避難情報が発令！！その時、とるべき行動	12
①避難情報の伝達方法	12
②避難情報に従いましょう	12
③洪水避難情報が発令！その時とるべき行動！！	13
④避難時の注意点を知っておきましょう	14
⑤災害時要援護者への手助けをお願いします	14
7. 避難場所を確認しておきましょう	15
8. 気象情報の入手方法を知っておきましょう	17
①携帯電話に気象情報がメール配信されます	17
②インターネットで気象情報を確認しましょう	17
9. 緊急連絡先を知っておきましょう	18
①緊急連絡先	18
②家族の安否を知りたい・知らせたい！！	18
10. わが家の防災メモ	19

1. 洪水ハザードマップとは

この洪水ハザードマップは、安平川で非常に大きな規模の洪水が発生したことを想定し、河川から水が溢れ出た場合、または、堤防が決壊した場合に、浸水が想定される区域にお住まいの皆様が速やかに避難できるように作成したものです。

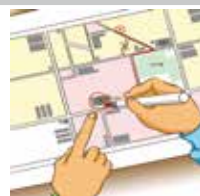
近年、地球温暖化などの影響で大型化した台風や、局地的な豪雨による水害が全国で多発しています。水害を始め各災害から生命・財産を守るためには、日頃からの備えが大切です。また、「地域の人々で協力して助け合う」という心構えもとても重要です。

いざというときに備え、この洪水ハザードマップに書かれている内容をよく読んで確認してください。

2. 洪水ハザードマップの活用方法

① 浸水が想定される区域と深さを確認しましょう

「洪水ハザードマップ(別紙)」で自分の住んでいる地区が、どの程度浸水する可能性があるのかを確認しましょう。



② 避難場所を確認しましょう

避難場所一覧表(15～16ページ)、洪水ハザードマップ(別紙)から自分がどこに避難するのかを確認しましょう。浸水区域内にある収容避難所は、洪水警報が発令された時に二次避難が必要になる場合がありますので、状況に応じて収容避難所を選択することが必要です。



！ 浸水区域内の避難場所を確認しましょう！

避難場所一覧表の表示例

●避難場所一覧表(15～16ページ)には、名称の先頭に「※」印があります。

② 早来地区

番号	対象地区	名 称
7	東早来	※東早来会館
8	北進	北進会館 北進会館広場
9	早来中適学区域	早来中学校
	北進	早来中学校グラウンド
10	早来小適学区域	早来小学校
	しらかば	早来小学校グラウンド
11	しらかば	しらかば会館

洪水ハザードマップ(別紙)の表示例

●洪水ハザードマップ(別紙)には、名称の先頭に(注)印があります。



③ 避難経路を確認しましょう

自分の家から収容避難所・一時避難場所までの経路を決めましょう。

「洪水ハザードマップ(別紙)」で危険箇所を確認して、安全に通行できる経路を選択しましょう。普段から通り慣れた道路であっても、洪水時には危険が伴います。避難時の注意点(14ページ)を確認しましょう。



④避難情報を確認しましょう

災害により避難が必要になる場合には、役場から避難に関する情報が発表されます。避難情報の種類や伝達方法(12ページ)を確認しましょう。



⑤防災知識を身につけましょう

大雨や台風は、襲来時期や規模をある程度予測することができるので、風水害の心得(4～10ページ)などを確認しましょう。



⑥災害時要援護者への手助けの準備をしましょう

高齢者・しょうがい者・子供・妊婦などの災害時要援護者は避難時に手助けが必要となります。自分の家や近所に災害時要援護者がいないかを確認し、いざというときのために手助け方法(14ページ)を確認しましょう。



⑦気象情報を確認しましょう

大雨から身を守るためには、最新の気象情報を確認することが大切です。テレビやラジオ以外でも気象情報を確認することができます。気象情報の入手方法(17ページ)を確認しましょう。



⑧緊急連絡先を確認しましょう

日頃から、緊急連絡先・災害用伝言ダイヤルの登録方法(18ページ)を確認し、いざというときのために備えましょう。

⑨非常持出品の準備をしましょう

いざというときのために、非常持出品をそろえ、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。非常持出品チェックリストを参考に、代用品なども考えながら用意しましょう。



非常持出品チェックリスト(一例)

※表に記載しているもの以外で必要なものがあれば、表の空欄に記入しておいてください。

貴重品		衣類等		生活用品	
☐	現金(10円玉も含む)	☐	上着・下着(水に濡れないようにビニール袋に入れる)	☐	ろうそく・ライター・マッチ
☐	預貯金通帳	☐	防寒着	☐	トイレットペーパー
☐	印鑑	☐	雨具	☐	ウェットティッシュ
☐	権利証書	☐	靴(頑丈で熱に強い物)	☐	タオル
☐	免許証(コピー)	医薬品等		☐	歯磨きセット・洗面道具
☐	健康保険証	☐	通院先の医師から処方されている薬	☐	めがね・コンタクトレンズ
☐	クレジットカード	☐	かぜ薬・胃腸薬・痛み止め	☐	生理用品
☐	キャッシュカード	☐	消毒液・ばんそうこう	☐	携帯カイロ
☐	携帯電話(充電器を含む)	☐	包帯・ガーゼ・三角巾	☐	懐中電灯・予備電池
非常食品等		☐	湿布薬・体温計	☐	レジャーシート
☐	飲料水(1人1日3リットル)	安全対策		☐	テント・寝袋・マット
☐	カンパン、缶詰	☐	ヘルメット・防災ずきん	☐	卓上コンロ・ガスボンベ
☐	サプリメント	☐	マスク	☐	ロープ
☐	レトルトのごはん	☐	帽子・バンダナ	☐	携帯ラジオ
☐	インスタント食品	☐	軍手・手袋		
☐	菓子類	☐	ホイッスル		
☐	割り箸・皿・コップ	☐	小型ナイフ		
☐	缶切り・栓抜き				

3. 風水害の心得

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などの自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな災害をもたらしています。このような自然災害から身を守るためには、様々な自然現象について正しい知識を持ち、災害時にとるべき行動を日頃から身につけておくことが重要です。また、大雨や台風は、前出のとおりある程度の予測が可能なため、日頃から気象情報を気につけ、最新の情報を得るように心掛けましょう。

①大雨について知っておきましょう

にわか雨

単独の積乱雲から降る雨による影響は、短時間で局地的な範囲に限られます。
このような雨は、急に降り出し短時間で降り終わります。

局地的大雨

大気の状態が不安定な場合、積乱雲は発達し、より強い雨をもたらします。単独の積乱雲が発達することにより起きるもので一時的に雨が強まり、局地的に数十mm(ミリ)程度の総雨量となります。

集中豪雨

前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって積乱雲が同じ場所で次々と発生、発達を繰り返すことにより起きるもので、狭い地域に激しい雨が数時間にわたって降り続き、数百mm(ミリ)の総雨量となります。

積乱雲の発生と発達メカニズム

空気が上昇気流(※1)によって上空に押し上げられて発生します。上昇気流が強まり、雲が成長を続けると、積乱雲となり雨を伴うようになります。

積乱雲がさらに発達を続けると、狭い範囲に短時間で強い雨を降させます。

※1 上昇気流

地表面の近くの空気が太陽などで暖められ軽くなって上昇を始めることで発生します。上昇気流が強まるのは、「地表面へ暖かく湿った空気が流入したとき」や「上空へ冷たい空気が流入したとき」で、このような気象現象を「**大気の状態が不安定**」と呼びます。つまり、「大気の状態が不安定」とは積乱雲が発達し、大雨になりやすい気象状況を意味します。



局地的大雨から身を守るために

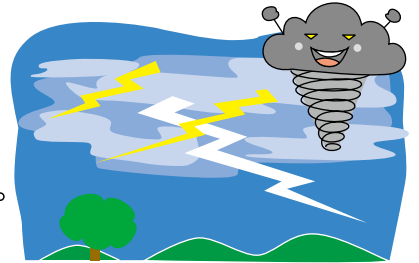
局地的大雨とは、積乱雲によって急に降る強い雨を意味します。降った雨が低い場所へ一気に流れ込むため、総雨量が少ない場合でも、短い時間で甚大な被害が発生することがあります。最新の気象情報を確認するとともに、雨雲や川の変化の様子を観察しましょう。また、異常現象を発見した場合には役場に連絡してください。(連絡先は18ページに記載しています。)

このようなときは注意しましょう!!

- ① 最新の天気予報で「大気の状態が不安定」「雷・突風・ひょうに注意」といった局地的大雨になりやすい気象状況のとき。



- ② 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなったり、雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたとき。



- ③ ヒヤッとした冷たい風が吹き出したとき。

- ④ 大粒の雨やひょうが降り出したとき。



②～④のような現象で雨が降り始めたら、

●水辺にいる場合は、急いで高いところへ避難する

●アンダーパス(地下道)や地下ガレージには近づかない・離れる

といった行動をとしましょう。

全国の事例で、過去に河川内の親水公園で水遊びをしていた子どもたちが流され、そのうち5人が亡くなったことがあります。また、冠水したアンダーパス(地下道)を通った自動車が水没して女性が亡くなったこともあります。

集中豪雨から身を守るために

非常に激しい雨が、何時間も同じ場所に降り続くと、大きな災害になります。平成24年7月九州北部豪雨、平成26年8月豪雨などの大雨災害は集中豪雨によるものです。

どんなときに発生するのか、知っておきましょう

- ①前線が停滞しているとき(梅雨の終わり頃)
- ②台風が近づいているとき
- ③大気的不安定な状態が続き、次々と雷雲が発生するとき

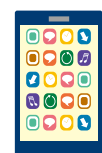
このようなことが起きるので注意しましょう

- ①河川がはん濫 ②家屋の浸水、道路が冠水 ③土砂災害
- ④地下室へ水が流れ込む



最新の気象情報を確認しましょう

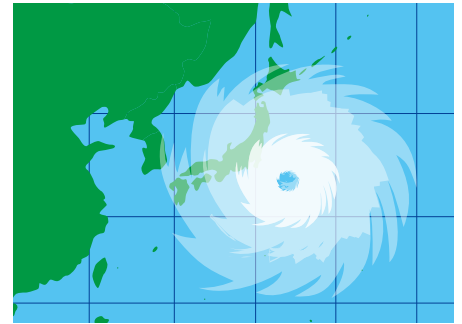
大雨から身を守るためには、局地的大雨になりやすい気象状況(大気の状態が不安定、急な雷の発生)や、警報、注意報が発表されていないかなど、テレビやラジオなどで最新の気象情報を確認することが大切です。



②台風の特徴を知っておきましょう

台風とは

熱帯地方の海上に発生する低気圧のことを「**熱帯低気圧**」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s以上の熱帯低気圧を「**台風**」と呼びます。



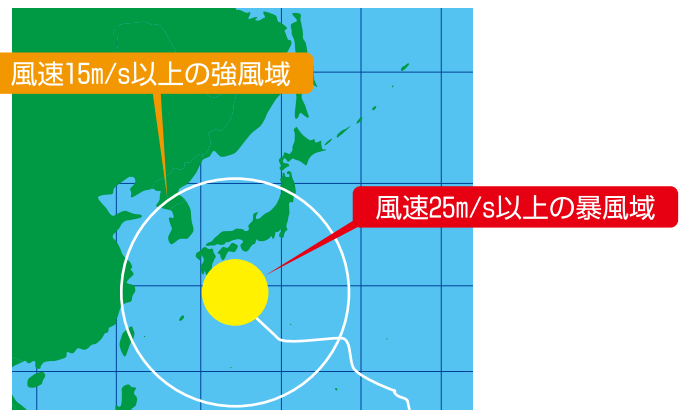
台風の強さ

台風の規模は、おおよその勢力の目安として「大きさ」と「強さ」で示されます。

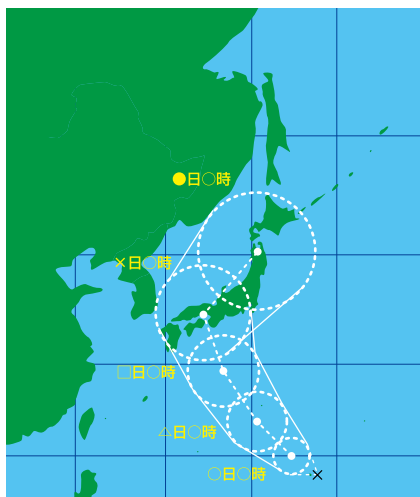
大きさ		強さ	
階級	風速15m/s以上の半径	階級	最大風速(秒速)
大型	500km以上～800km未満	強い	33m/s以上～44m/s未満
		非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
超大型	800km以上	猛烈な	54m/s以上

強風域と暴風域

- **強風域** 風速が15m/s以上の風が吹いている範囲
- **暴風域** 風速が25m/s以上の風が吹いている範囲



台風に関する予報



3日先までの各予報時刻の台風の中心位置、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒区域などが気象庁から発表されます。左の図は、台風の予想進路などを示した図です。3日先も引き続き台風であると予想される場合には、5日先までの台風の進路が発表されます。テレビなどの天気予報で、最新の台風情報を確認しましょう。

また、北海道に上陸が予想される場合には、3ページに掲載されている非常持出品などを用意し台風へ備えましょう。その他の台風対策については、9ページを確認してください。



台風に伴う風の特性

台風により発生する風は陸上の地形の影響を大きく受け、入り江や海峡、岬、谷の間、山の尾根などでは風が強く吹きます。また、建物があるとビル風と呼ばれる強風や乱気流が発生します。道路上では橋の上やトンネルの出口で強風にあおられるなど、局地的に風が強くなることもあります。

台風に伴う雨の特性

台風の雨は、積乱雲が集まったもので広い範囲に長時間にわたって降り続きます。また、暖かい湿った空気が台風に向かって南の海上から流れ込むため、日本付近に前線が停滞していると、その湿った空気が前線の活動を活発化させ、大雨となることもあります。台風がもたらす雨は、台風自身の雨のほかに、前線の活動が活発化して降る雨もあることを忘れてはいけません。



大雨の影響

台風がもたらす雨は短時間で大量の雨が広い範囲に降るため、河川が増水したり、堤防が決壊したりして浸水や洪水が起こります。また、がけ崩れや土石流の発生などの土砂災害も起こります。さらに、近年、野外活動が盛んになり、キャンプをする人が増えてきていますが、河川の上流域に降った雨による増水で河川の中州などに取り残されて救助を求めるなどの事故が増えています。自分が居る場所の雨の降り方に注意するとともに、河川の上流域の雨の降り方にも注意する必要があります。

台風が弱くなっても油断は禁物

台風は、日本付近に進んで北から寒気の影響が加わると、その構造が変化し寒気と暖気の境である前線を伴う「**温帯低気圧**」に変わります。「温帯低気圧」は一般に強い風の範囲が広く、寒気の影響で再発達することがあり、低気圧の中心から離れた場所でも災害が起こるので注意が必要です。また、台風がそのまま衰えて「**熱帯低気圧**」に変わる場合もありますが、この場合は最大風速が17m/s未満になったただけなので、「温帯低気圧」「熱帯低気圧」いずれの場合も消滅するまで油断は禁物です。

③近年におきた水害を知っておきましょう

	北海道全土における被害	安平町内における被害	雨量※
昭和56年8月	浸水戸数36,900戸、氾濫面積142,000ha 被害総額1,900億円	床上浸水6戸、床下浸水30戸、農作物被害571ha、農業施設6箇所 被害総額6億3,299万円	約310mm
平成4年8月	浸水戸数500戸、氾濫面積3,900ha 被害総額240億円	河川決壊等2箇所	約100mm
平成13年9月	浸水戸数300戸、氾濫面積5,300ha 被害総額400億円	農業被害8件、河川・道路破損 被害総額1億5,228万円	約190mm
平成16年9月	床上浸水68戸、床下浸水40戸 被害総額793億円	道路被害(倒木)29件、林業被害(倒木)7件、公共施設被害12件、民間施設被害35件、農作物被害25.5ha、農業施設被害101件、追分地区一部停電 被害総額5,837万円	約9mm (※風倒木)
平成17年8月	床上浸水1戸、床下浸水27戸 被害総額13億円	床下浸水8戸、農作物被害12.8ha、河川12箇所、道路14箇所	約140mm
平成17年9月	床上浸水4戸、床下浸水44戸 被害総額40億円	農作物被害346.9ha、営農施設2箇所、河川7箇所、道路10箇所	約140mm
平成18年8月	全壊1戸、一部破損1戸、床上浸水19戸、床下浸水222戸 被害総額153億円	農業被害1.6ha、河川6箇所、道路11箇所、施設4件 被害総額940万円	約140mm
平成22年8月	住家一部破損2戸、床上浸水36戸、床下浸水75戸 被害総額51億円	農作物被害0.4ha、道路3箇所	約110mm
平成23年9月	住家一部破損2戸、床上浸水6戸、床下浸水53戸 被害総額41億円	農作物被害3.6ha	約188mm

※雨量は安平町内における総雨量です。

④気象庁が発表する注意報・警報を知っておきましょう

① 注意報発表基準

注意報名	内 容
強風(平均風速)	陸上12m/s
風雪(平均風速)	陸上12m/s (雪による視程障害を伴う)
大雨(1時間雨量)	30mm 平坦地以外40mm
大雪	12時間降雪の深さ 25cm(山間部30cm)

② 警報発表基準

警報名	内 容
暴風(平均風速)	陸上18m/s
暴風雪(平均風速)	陸上18m/s (雪による視程障害を伴う)
大雨(1時間雨量)	50mm 平坦地以外70mm
記録的短時間大雨情報	100mm
大雪	12時間降雪の深さ 40cm(山間部50cm)



③ 特別警報発表基準

現象の種類		基 準	
大	雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴	風	数十年に一度の強度の台風や同程度の 温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高	潮		高潮になると予想される場合
波	浪		高波になると予想される場合
暴	風 雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大	雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

⑤雨の強さと予想される被害を知っておきましょう

1時間の雨量	予報用語	屋外の様子	予想される状況・被害
10mm～20mm未満	やや強い雨	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く場合は注意が必要。
20mm～30mm未満	強い雨		傘をさしていても濡れる。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30mm～50mm未満	激しい雨	道路が川のようになる	山崩れやがけ崩れが起きやすくなる。マンホールから雨水があふれる。
50mm～80mm未満	非常に激しい雨	水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる	地下室に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすくなる。
80mm以上	猛烈な雨		大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要となる。

⑥風の強さと予想される被害を知っておきましょう

平均風速(毎秒)	予報用語	予想される状況・被害
10m～15m未満	やや強い風	取り付けの悪い看板やトタンが飛び始める。
15m～20m未満	強い風	ビニールハウスが壊れ始める。
20m～25m未満	非常に強い風	シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m～30m未満		ブロック塀が壊れ始める。立っていられなくなる。
30m以上	猛烈な風	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

⑦風水害の対策を知っておきましょう

日頃からの対策

- 1** 屋根、外壁、窓ガラス、ブロック塀などは日頃から点検して、不備な箇所は補修しておきましょう。



- 2** 側溝や排水溝は掃除をして、水はけをよくしておきましょう。(落ち葉などが原因となり、床下浸水したケースもあります。)



- 3** 家族などの安否確認ができるよう、連絡方法と待ち合わせ場所・避難場所を確認しておきましょう。

- 4** 自宅の周りや地域に、大雨による災害や浸水が発生する場所がないか確認しておきましょう。

- 5** 非常持出品を揃えて、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。非常持出品については3ページに掲載しています。



台風対策

- 1 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて外から板を打ち付けて補強しておきましょう。
- 2 庭木に支柱を立てたり、塀を補強しておきましょう。
- 3 煙突やアンテナなどは支線を張り補強しておきましょう。
- 4 風で飛ばされそうな物はしっかりと固定しておきましょう。

- 5 植木鉢など飛ばされる危険があるものは、室内に取り込みましょう。

- 6 風が強い場合には、窓を閉めカーテンを閉めておきましょう。



雨や風が強くなってから対策を始めるのは危険が伴いますので、接近が予測された時に早めに準備し、危険と判断されたら早めに避難をしましょう。

風水害のあとの安全対策

- 1 切れた電線が建物や樹木、塀などに触れていないか確認し、断線があれば北海道電力に連絡しましょう。(連絡先は、18ページの一覧に記載しています。)
- 2 燃料などの危険物が漏れていないか、プロパンガスに異常はないか確認しましょう。安全を確認するまでは、火気の使用は禁物です。
- 3 浸水の被害があった場合は、伝染病を防ぐために必ず消毒をしましょう。
 - 庭、家の周辺、床下に石灰をまきましょう。
 - 家具などは薄めたクレゾール石けん液でよく拭き消毒しましょう。
 - 畳は日光に当ててよく乾燥させたあとに薄めたクレゾール石けん液で拭き消毒しましょう。

⑧風水害の防災知識を身につけておきましょう

自分だけは大丈夫と思っていないですか？

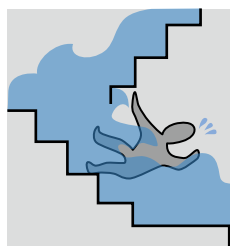
台風や低気圧が来て大雨が降っている時に、川の様子を見に行ったりは、増水に巻き込まれる可能性があるのが危険です。また、猛烈な風が吹いている時に屋根の修理などをしては危険です。屋根から落ちて命を落とす場合があります。



被害を受けやすい箇所を知っておきましょう

台風や発達した低気圧の際には、川、急な斜面、地下室、アンダーパス(地下道)などが被害を受けやすい場所です。このような場所からは早めに避難するなど注意が必要です。

ドアが開かない!!!



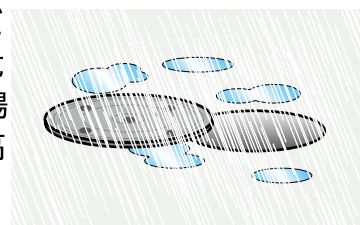
情報が大切です!!

前出のとおり、台風や大雨などの気象情報は数日前から予報されます。テレビやラジオ、インターネットを活用して、風水害に備えましょう。加えて、最新の情報を入手することが大切です。



見えない所に危険があります。早めの避難が大事です

道路が水浸しになったときに、水が濁って段差などが分からなくなってしまう。また、マンホールの蓋がなくなっていることに気づかず落ちてしまうことがあります。このように災害時には普段では気づかない危険があるので、正しい情報を聞いて早めに避難することが大事です。また、浸水の深さが浅いからといって安全ではありません。水の流が速い所などを避難すると非常に危険です。避難が遅れた場合には、住宅の2階や高い所で助けを呼ぶことが大切です。



4.土砂災害の心得

土砂災害から身を守るためには、気象庁から発表される**土砂災害警戒情報**に注意し警戒すると共に、町が発令する**避難勧告・指示**に従って、速やかに避難行動をとしましょう。また、雨が降り続いた場合などには土砂災害の前ぶれ現象に注意し、**早めの避難**を心掛けましょう。

① 雨に注意しましょう



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。
台風、集中豪雨などの雨量が多くなる程、発生しやすくなります。
1時間に20mm(ミリ)以上、または降り始めから100mm(ミリ)以上の雨になった場合などには十分注意が必要です。
また、雨で地盤がゆるんだときには地震に対する警戒も必要です。

② 前ぶれ現象に注意しましょう

がけ崩れ



小石がパラパラ落ちてくる。



がけから、水がわき出てくる。



斜面のひび割れ、変形が見られる。

土石流



山鳴りがする。



川が濁り流木が混ざり始める。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

地すべり



がけや斜面から水が吹き出す。



地面にひび割れができる。



沢や井戸の水が濁る。

5. 自主防災組織の結成にご協力ください

自主防災組織とは

自主防災組織は「**自分たちの地域は自分たちで守る**」の理念のもと、災害が発生した際に地域の方を救助したり、火災が発生した場合の消火活動を行うなど、災害の初期段階で大切な役割を担う組織です。町民の皆さんの自発的な意志に基づき自治会などの単位で結成されるものです。各防災関係機関と連携し、活躍することが望まれています。みんなで話し合い、できることから始めましょう。

自主防災組織の必要性

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊による生き埋めや建物などに閉じこめられた人のうち（圧死せず生き残っていた人のうち）、およそ95%が自力または家族や隣人に救助され、消防などの公的機関に助けられた人はわずか1.7%でした。近年、地域住民同士の「つきあい」が無くなってきたなどと言われますが、自治会などの活動を行うことは、地域の防災力を高め、安全で住みやすい地域づくりにつながっていきます。ぜひ一度、会合などでお話してください。

自主防災組織の一例

自主防災組織の編成は、おおむね下図のとおりです。災害時の役割を分担するため本部と必要な活動班に区分し、現在の自治会などの各部にその役割を振り分けるといいでしょう。本部と各班の主な役割は次のとおりです。

〇〇自治会自主防災組織



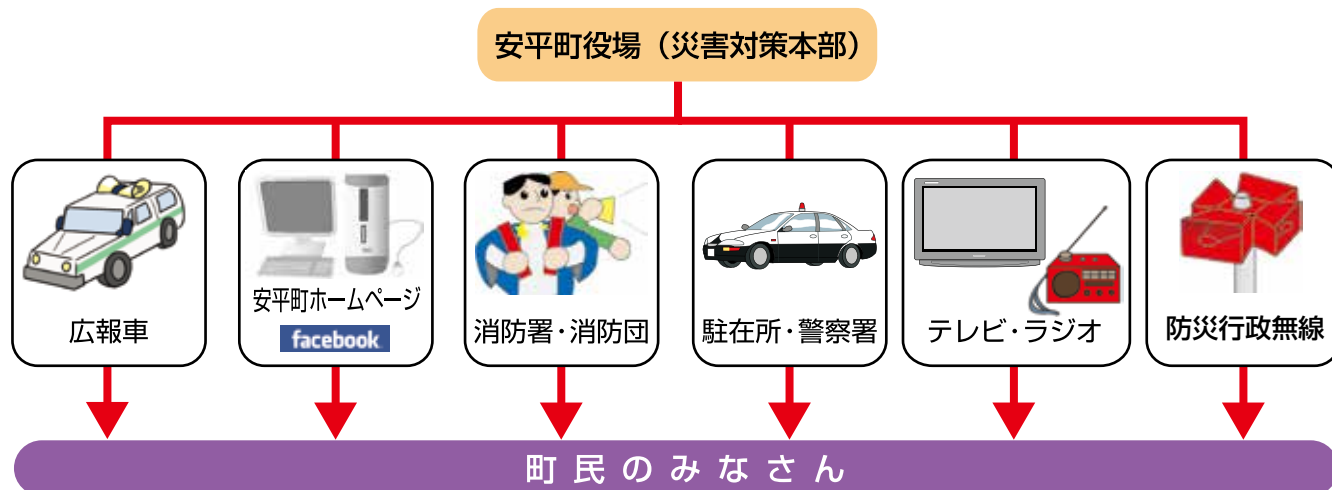
※これは一例です。自治会などの会員数を考慮し、必要な班を決めましょう。他の自治会などとの連携も大切です。

6. 避難情報が発令!!その時、とるべき行動

災害により避難が必要になる場合には、役場から避難に関する情報が発表されます。避難準備情報、避難勧告、避難指示が発令された場合には、指定の避難所に避難してください。自分の家がどこに避難するかを15～16ページの避難場所一覧表と別紙のハザードマップで確認し、いざという時に避難できるようにしておきましょう。

①避難情報の伝達方法

避難に関する情報は、下図の経路で避難する必要がある地域みなさんに伝えられます。これらに注意し、速やかに避難できるよう心掛けましょう。



②避難情報に従いましょう

災害被害の危険から、みなさんの人命を守るために発令されます。避難情報の種類を把握し、早めの避難を心掛けましょう。

種 類	拘束力
避難準備	弱
避難勧告	
避難指示	強

避難準備 ➡ 災害の危険性が高まった時に発令します。

お年寄りの方や身体の不自由な方など、避難に時間がかかる方が避難する必要に迫られた時に発表される情報です。

🔊 こんな時に発令されます

- 気象台から大雨・暴風又は洪水の警報が発表され、避難しなければならない状況になったとき。
- 近隣で湧き水、地下水の濁りや量の変化といった土砂災害の前ぶれ現象が確認されたとき。
- 河川の水位が「はん濫注意水位^{*}」を越えて、なお上昇が予想されるとき。

→ P13 下図参照

🔊 発表例

『〇〇時間後に△△川の水位が危険な水位に達するおそれがあります。避難に時間がかかる方は、最寄りの避難所へ避難を開始してください。』

🔊 とるべき行動

- 避難に時間を要する人は避難を開始してください。
- 家族との連絡、非常持出品の用意をして避難の準備を開始してください。
- 災害時要援護者の家族や隣近所の方々は避難の手助けを開始してください。



避難勧告 ➡ 災害の危険性が明らかに高まった時に発令します。

家屋などの建物に被害が発生するおそれがある場合に発表される避難情報です。

🔊 こんな時に発令されます

- 近隣で斜面の崩壊、擁壁などの亀裂やひび割れなどの土砂災害の前ぶれ現象が発見されたとき。
- 土砂災害警戒情報が発令されたとき。
- 河川の水位が「避難判断水位※」を越えて、なお上昇が予想されるとき。

🔊 発表例

『△△川の堤防が決壊するおそれがありますので、避難を開始してください。』

🔊 とるべき行動

- 通常の避難行動ができる人は指定の避難所へ避難を開始してください。



避難指示 ➡ 人的に関わる被害が発生する可能性が非常に高いと判断された状況の時に発令します。

避難勧告よりも強く避難を求めるものです。人に被害が出る危険性が高まった場合に発表されます。

🔊 こんな時に発令されます

- 近隣で土砂災害が発生したとき。
- 近隣で土砂移動現象、山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂などの重大な土砂災害の前ぶれ現象が発見されたとき。
- 河川の水位が「はん濫危険水位※」を越えて、なお上昇が予想されるとき。

🔊 発表例

『△△川の堤防が決壊する危険があります。直ちに避難を開始してください。』

🔊 とるべき行動

- 避難勧告の発令で避難中の人は直ちに避難を完了してください。
- まだ避難を完了していない人は直ちに避難を完了するか、避難に間に合わなければ、高台や建物の2階へ避難するなど、命を守る最低限の行動を行いましょう。



③洪水避難情報が発令！その時とるべき行動！！

大雨の影響で河川の水位が上昇し、はん濫します。

雨の降り方や住んでいる地域で異なりますので気象情報や避難情報に注意し避難の準備をしましょう。



④避難時の注意点を覚えておきましょう

洪水の時

！ 浸水の深さに注意

歩行が可能な水深は、ひざ下までです（流れがある場合は、足首までが限界）。避難できない水深まできたら、建物の2階など高い所に避難しましょう。



！ はき物に注意

裸足、長靴は禁物です。
ひもで締められている運動靴をはいて避難しましょう。



！ 段差、溝に注意

水面下には、マンホールや側溝など危険な場所があります。長い棒などを杖代わりにして確認しながら歩きましょう。



！ 子供から目を離さない

はぐれないように、身体をロープで結んで避難しましょう。



土砂災害の時

- ！ 土石流はスピードが早いため、流れを背にしていれば、すぐに追いつかれます。
- 土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。



家を空ける時

- ！ 電気のブレーカーを落とす。
- ！ ガスの元栓を閉める。
- ！ ストーブを消す。
- ！ 戸締まりをしっかりと行う。

⑤災害時要援護者への手助けをお願いします

災害が発生したときは、高齢者や心身にしょうがいのある人、子供や妊婦などの災害時要援護者の方には特別な配慮が必要です。身近にいる災害時要援護者の方々への手助け、気配りをお願いします。

高齢者・寝たきりの方

- 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 不安を取り除くような言葉をかける。



耳が不自由な方

- 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



目の不自由な方

- 災害時には、声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手に触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。



身体の不自由な方

- 階段では、2人以上が必要です。上がりは前向き、下りは後ろ向きにて移動する。
- 介助者が1人の場合、おぶさりひもなどを用意し、おぶって避難する。



知的しょうがいのある方

- あわてないように優しい声で指示を出すか、手をとって安全な行動を促す。



7. 避難場所を確認しておきましょう

災害時に備えて、自宅や職場の近くにある収容避難所を確認しておきましょう。

① 安平地区

○市外局番は0145です。

番号	対象地区	名 称	所 在 地	電話番号	収容避難所／一時避難場所
1	瑞穂	みずほ館	早来瑞穂1211番地1	23-2109	● 収容避難所
		みずほ館広場			● 一時避難場所
2	安平小通学区	安平小学校	安平166番地	23-2266	● 収容避難所
	安平第1・2・3	安平小学校グラウンド	安平165番地		● 一時避難場所
3	安平第1・2・3	安平公民館	安平165番地	23-2306	● 収容避難所
4	緑丘	緑丘会館	早来緑丘80番地7	—	● 収容避難所
5	守田	守田会館	早来守田123番地2	—	● 収容避難所
		守田会館グラウンド			● 一時避難場所
6	安平第1・2・緑丘	旧安平保育園グラウンド	安平448番地	23-2350	● 一時避難場所

② 早来地区

番号	対象地区	名 称	所 在 地	電話番号	収容避難所／一時避難場所
7	東早来	※東早来会館	東早来109番地2	—	● 収容避難所
8	北進	北進会館	早来北進85番地5	22-2402	● 収容避難所
		北進会館広場			● 一時避難場所
9	早来中通学区	早来中学校	早来北進92番地9	22-2656	● 収容避難所
	北進	早来中学校グラウンド			● 一時避難場所
10	早来小通学区	早来小学校	早来大町159番地	22-2031	● 収容避難所
	しらかば	早来小学校グラウンド			● 一時避難場所
11	しらかば	しらかば会館	早来大町156番地1	22-4055	● 収容避難所
12	あかね・東早来	※はだしの広場	早来大町141番地3	—	● 一時避難場所
13		あかね公園	早来大町141番地39	—	● 一時避難場所
14	ときわ	ときわ公園	早来北進98番地45	—	● 一時避難場所
15	ときわ・しらかば あかね	早来町民センター	早来北進102番地4	22-3224	● 収容避難所
16	あけぼの・さかえ 北町・新栄第一	早来研修センター	早来大町41番地	22-2388	● 収容避難所
	あけぼの・さかえ	早来研修センター広場			● 一時避難場所
17	さかえ	※さつき会館	早来栄町109番地5	—	● 収容避難所
18	さかえ・新栄第一	※デイサービスセンター	早来栄町133番地42	22-4646	● 収容避難所
	さかえ	※デイサービスセンター広場			● 一時避難場所
19	北町	北町会館	早来北町51番地2	22-4088	● 収容避難所
		北町会館広場			● 一時避難場所
20	富岡小通学区	富岡小学校	早来富岡224番地	22-2791	● 収容避難所
	富岡・酪農	富岡小学校グラウンド			● 一時避難場所
21	富岡	富岡会館	早来富岡242番地	22-3720	● 収容避難所

③ 遠浅地区

番号	対象地区	名 称	所 在 地	電話番号	収容避難所／一時避難場所
22	新栄第一	新栄第一会館	早来新栄312番地	22-3779	● 収容避難所
23	新栄第二	※新栄第二会館	早来新栄164番地	22-3254	● 収容避難所
24	遠浅小通学区	遠浅小学校	遠浅580番地	22-2674	● 収容避難所
	新栄第二・源武・東遠浅	遠浅小学校グラウンド			● 一時避難場所
25	東遠浅	東遠浅生活館	遠浅508番地	22-3117	● 収容避難所
26	源武	源武会館	早来源武81番地	22-2008	● 収容避難所
27	遠浅・酪農	遠浅公園	遠浅125番地2	—	● 一時避難場所
28	遠浅・酪農	遠浅公民館	遠浅125番地1	22-2214	● 収容避難所

一覧表の施設は、本来災害対策用に設置された施設ではないため、避難された方には、さまざまな制約をお願いする場合があります。

※印の避難所は、浸水想定区域内にあるため洪水警報が発令されたときに二次避難が必要になる場合があります。対象地区はあくまでも目安です。状況に応じて収容避難所を選択することも必要です。

④ 追分地区

○市外局番は0145です。

番号	対象地区	名 称	所 在 地	電話番号	収容避難所／一時避難場所
29	追分柏が丘 追分本町1～3丁目	追分小学校 追分小学校グラウンド	追分柏が丘22番地	25-2026	● 収容避難所 ● 一時避難場所
30	追分花園1～2丁目 追分中央の一部	※追分中学校 ※追分中学校グラウンド	追分本町6丁目56番地	25-2044	● 収容避難所 ● 一時避難場所
31	追分本町7丁目 追分花園3～4丁目	追分高校 追分高校グラウンド	追分本町7丁目8番地	25-2555	● 収容避難所 ● 一時避難場所
32	追分本町4～6丁目	※ふれあいセンターい・ぶ・き	追分本町5丁目7番地	25-2154	● 収容避難所
33	追分本町1～3丁目 追分柏が丘 追分緑が丘	追分公民館 追分公民館駐車場	追分緑が丘200番地2 追分緑が丘201番地3 及び 追分緑が丘200番地2	25-2565	● 収容避難所 ● 一時避難場所
34	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目 追分中央	多目的スポーツセンター	追分中央1番地49	25-4567	● 収容避難所
35	追分中央 追分本町1～4丁目	ぬくもりセンター	追分中央1番地40	25-2968 25-2263	● 収容避難所
36	追分本町7丁目 追分美園	労働会館集会室	追分本町7丁目3番地	25-2427	● 収容避難所
37	追分柏が丘 追分本町2丁目	追分幼稚園遊戯室	追分柏が丘22番地	25-3404	● 収容避難所
38	追分本町5～7丁目 追分柏が丘 追分美園の一部	柏が丘球場	追分柏が丘33番地	25-3833	● 一時避難場所
39	追分本町3～4丁目 追分柏が丘 追分中央の一部	憩の家	追分本町3丁目64番地	25-2207	● 収容避難所
40	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目	青葉会館	追分白樺2丁目3番地1	25-3752	● 収容避難所
41	追分青葉1～3丁目	青葉3丁目広場	追分青葉3丁目144番地	——	● 一時避難場所
42	南公営住宅	南公営住宅広場	追分花園3丁目123番地	——	● 一時避難場所
43	追分若草1～3丁目	花園若草会館	追分若草1丁目35番地	25-2093	● 収容避難所
44	追分若草1～3丁目	若草公園(広場)	追分若草2丁目126番地	——	● 一時避難場所
45	追分若草2～3丁目	若草3丁目公園(若草わんぱーく)	追分若草3丁目235番地	——	● 一時避難場所
46	追分青葉1～2丁目 追分白樺2丁目	鉄道資料館前広場	追分白樺2丁目14番地	——	● 一時避難場所
47	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目	鹿公園(イベント広場等)	追分白樺2丁目	——	● 一時避難場所
48	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目	鹿公園北(花回廊の森)	追分白樺2丁目3番地1	——	● 一時避難場所
49	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目	鹿公園南(萌えの森)	追分白樺2丁目5番地	——	● 一時避難場所
50	追分青葉1～3丁目 追分白樺1～2丁目 追分中央	センターブリッジ西広場	追分白樺2丁目201番地及び 追分白樺2丁目203番地	——	● 一時避難場所
51	追分豊栄	豊栄会館	追分豊栄563番地	25-3350	● 収容避難所
52	追分春日・追分弥生	明春辺会館	追分弥生496番地	25-3931	● 収容避難所
53	追分旭・追分向陽	旭陽会館	追分向陽865番地	25-3932	● 収容避難所
54	追分美園・追分緑が丘	農村文化センター	追分美園161番地	25-3999	● 収容避難所
55	特定せず	※追分保育園	追分本町6丁目27番地	25-3439	● 収容避難所

8. 気象情報の入手方法を知っておきましょう

① 携帯電話に気象情報がメール配信されます

北海道が作成した「北海道防災対策支援システム」に登録すると、お手元の携帯電話に気象警報や避難情報などがメールで配信されます。



メール配信される情報	登録方法	問い合わせ先
① 気象情報 (暴風雪・大雨・洪水・暴風・大雪) ② 地震情報 (震度4以上) ③ 避難情報 (避難情報の発表・解除)	携帯電話URL http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/ ↑ 上記サイトにアクセスし、 「防災情報配信登録」してください。	北海道総務部 危機対策局防災消防課 TEL 011-204-5007 (ダイヤルイン)

② インターネットで気象情報を確認しましょう



天気予報や気象注意報・警報など

室蘭地方気象台

URL >>> <http://www.jma-net.go.jp/muroran/>

気象庁

URL >>> <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



河川の水位情報・雨量情報など

国土交通省「川の防災情報」

URL >>> <http://www.river.go.jp/>



豆知識!!

インターネットで下記の内容で検索すると安平川の水位や安平町の雨量を入手できます。

テレメータ水位 源武橋

テレメータ水位 安平橋

テレメータ雨量 安平橋



※現在安平橋は.....の位置に変わっています。



上記の位置図に記されている源武橋および安平橋で安平川の水位を観測しています。また、安平橋では降った雨の量も観測しています。大雨時には、役場職員がインターネットでの情報収集や現地巡回を行うことにより安平川の水位などを確認しています。

9. 緊急連絡先を知っておきましょう

① 緊急連絡先

1 警察 110番

苫小牧警察署	0144-35-0110	安平駐在所	23-2339
警察への相談	(局番なし) #9110	早来駐在所	22-2030
追分駐在所	25-2003	遠浅駐在所	22-2211

2 消防・救急 119番

消防署安平支署	22-2074	消防署安平支署 追分出張所	25-2119
北海道救急医療情報 案内センター	0120-20-8699 (携帯電話・PHSからは、011-221-8699) 携帯電話からお掛けになる場合、安平町内からですと「119番」では胆振東部消防本部につながってしまいます。上記消防署の電話番号を市外局番からご登録いただき、ご活用いただきますと、地理情報に詳しい担当がありますので早い対応が期待できます。		

3 役場 22-2511 (早来庁舎代表電話)

水道・下水道などの被害について	22-2730	その他ご不明な点は、上記代表電話22-2511にお問い合わせください。 なお、休日・夜間の災害発生時には消防署安平支署22-2074にご連絡願います。
道路・河川・公園などの被害について	25-2496	
街路灯・公営住宅などの被害について	22-2516	

4 ライフライン

北海道電力苫小牧支店※早来地区のみ	0144-32-5321
北海道電力停電情報サービス※早来地区のみ	0120-827-121
北海道電力栗山営業所※追分地区のみ	0123-72-1071
北海道電力停電情報サービス※追分地区のみ	0120-438-121
NTT東日本	(局番なし) 113
NTTドコモ (お客様センター)	0120-800-000
a u (お客様センター)	0077-7-111
ソフトバンク (お客様センター)	0800-919-0157

5 交通機関

JR追分駅	25-2611
あつまバス	27-2311

② 家族の安否を知りたい・知らせたい!!

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル171

家庭などの固定電話を利用してメッセージを録音、再生できるサービスです。

覚えてください、
災害時の声の伝言板
災害用伝言ダイヤル

171

伝言の録音方法

171にダイヤルする
ガイダンスが ▼ 流れます

録音の場合 1

(××××)××-××××
自宅の電話番号をダイヤルする
(携帯電話の番号は不可)

伝言の再生方法

171にダイヤルする
ガイダンスが ▼ 流れます

再生の場合 2

(××××)××-××××
連絡を取りたい被災地の方の
電話番号をダイヤルする

災害用伝言板サービス

携帯電話を利用して安否を登録、閲覧できるサービスです。使用にあたっては、携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

伝言板登録

▼状態
☒ 無事です。
☐ 被害があります。
☐ 自宅に居ます。
☐ 避難所に居ます。

▼コメント
 (~100文字)
 明日戻ります。

※登録情報確認の際、登録されたお客様自身の携帯電話番号及び登録日時が表示されます。

※10件目以降は、登録済みの古い順に上書きされます。

登録

伝言板確認

2004/01/17 23:43

無事です。
明日戻ります。

次へ
 伝言一覧へ
 トップ画面へ

10. わが家の防災メモ

① わが家の避難所

	避難場所	住 所	電話番号
洪 水			
地 震			
土砂災害			

② 家族の連絡先

家族の名前	連絡先 (勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号

③ かかりつけの病院

病院名		電話番号	
病院名		電話番号	
病院名		電話番号	

お問い合わせ

安 平 町 役 場

総務課情報グループ

安平町ホームページ

〒059-1595 勇払郡安平町早来大町95番地

TEL 0145-22-2511 FAX 0145-22-2026

<http://www.town.abira.lg.jp/>

平成22年3月発行
平成26年10月改訂